希望に向かって…

はた楽（らく）トーク vol.7

医療法人医誠会 介護老人保健施設
エスペラル近江八幡
〒523-0071　滋賀県近江八幡市大房町 1002 番地 1
TEL：0748-32-1165　FAX：0748-32-1190

介護支援専門員
主任 乾（いぬい）　仁美（ひとみ） より

エスペラル近江八幡では4階の認知症専門棟を担当しながら、入退所の調整や、家族・医療機関関係者・ケアマネージャーをはじめとする外部の方々との連携・相談・交渉など、多岐に渡る業務を行っています。老健施設の本来の役割は在宅復帰をお手伝いすることです。時にはご自宅に訪問させていただき、環境などを確認の上、今後の生活をイメージしながらケアを提供していきたいと考えています。一方で近江八幡市にはサービス付き高齢者住宅が無いなど、社会資源が決して恵まれているわけではないため、当施設では家族背景や要望に応じた入所相談にも柔軟に対応しています。例えば、移動方法ひとつについても、ご自宅での環境によっては「車椅子」よりも「短距離の歩行」練習に力を入れた方がいいこともあります。今後の生活の場を施設とされるなら、在宅復帰の方とは違って「短距離の歩行」よりも「車椅子」で自由に行き来できる方が生活を楽しめることもあります。こういった今後の方針によって、フロア毎にケアの内容に専門性を持たせる構想もあり、より入所者さんに応じたケアが提供できる体制も整えていきたいと考えています。

医療が発達し地域包括ケアシステムの構築が進められていく中、一つひとつのケースをみんなで勉強し、対応できる力を身につけること。自身の役割を果たすためにどこまで意識を持つのかが大事です。失敗もありますが、頑張りたいと思います。

スタッフ募集中！　詳しくは採用担当者までお気軽にお問い合わせください

糖尿病教室

毎月第3木曜日の 11 時から（1時間程度）

糖尿病の症状や正しい食生活について、当院の内科医師・管理栄養士・理学療法士・薬剤師・臨床検査技師・看護師等による講演です。

場所：当院　新会議室（2 階）

8/18
- 臨床検査技師「検査で何がわかるの？（糖尿病検査データの見方）」
- 管理栄養士「おやつと外食のベストチョイス！（選び方）」

9/15
- 看　護　師「足のお手入れ（糖尿病で足を切らないために）」
- 管理栄養士「これであなたも糖尿病食マスター！！」

参加費無料の全6回シリーズです。
途中の回からでもお気軽にご参加ください。

お知らせ

近江八幡コース

シャトルバス増便しました

当院ではサービス向上の取組みとして、病院とＪＲ近江八幡駅（北口）を結ぶ無料のシャトルバスの運行を開始いたしました。
これに伴い、シャトルバスの時刻表を一部変更しております。詳しくは病院にてご確認ください。

	B-8	B-11
病院	13:20	16:10
沙々貴神社	○	○
安土駅	13:30	16:20
近江八幡駅北口（観光案内所前）	13:50	16:45
安土駅	14:10	
安土郵便局	○	
安土役場	○	
西老蘇	○	
病院	14:30	

診療科目　内科・外科・整形外科・皮膚科・耳鼻咽喉科・人工透析内科・人工透析室（38 床）・リハビリテーション科・泌尿器科（休診中）

診察日　月～金　午前診察・午後診察　/　水・木は午後休診
土　午前診察　※日曜日・祝日は休診

診療時間　午前診察　9:00 ～ 11:30　/　午後診察　13:30 ～ 16:00

地域医療連携室　TEL：0748-48-5558　FAX：0748-48-5722
広報責任者　山本 寛人

JSA QMS JIS Q 9001 JSAQ2735　MS JAB CM001

医療法人医誠会
神崎中央病院
Holonics Group
〒529-1445 滋賀県東近江市五個荘清水鼻町 95
TEL:0748-48-5555　FAX:0748-48-5556
E-mail　info@kanzakihp.com　/　URL　http://kanzakihp.com

ケータイ・スマホはこちらから！

はなてんびん

医療法人医誠会
神崎中央病院
Holonics Group
Vol.96　2016.8
発行：地域医療連携室

Pick up photo

手指衛生遵守率向上に向けて　当院では今年度、Hand Hygiene Challenge にエントリー。医療関連感染を防ぐため、目に見える汚れがある場合には石けんで手洗い、目に見える汚れがない場合には手指消毒を心がけ、手指衛生の遵守率向上に取り組んでいます。

contents

神崎最前線：「グリーンカーテン作戦」
特集：Hand Hygiene Challenge / 5 階病棟夏祭り
エスペラル近江八幡だより 希望に向かって…/ 糖尿病教室 / お知らせ

特集

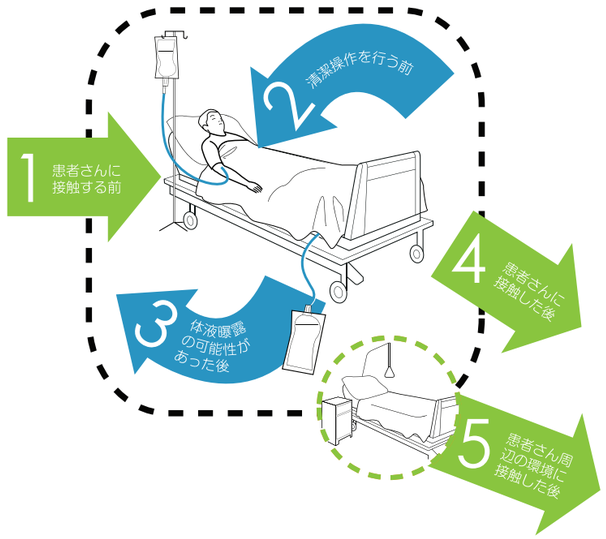
院内取り組みのご紹介

Hand Hygiene Challenge

ハンド　ハイジーン　チャレンジ

今年度から当院では、施設の手指衛生の遵守率を向上させるための参加型プログラム、Hand Hygiene Challenge にエントリーしています。このプログラムはゴージョージャパン（株）・テルモ（株）と協同で運営しているもので、患者さんの安心・安全を守るため、私たちは5つの場面で手指衛生の遵守率を高め、医療関連感染の予防に取り組みます。

WHO の 手指衛生 5 moments



1 患者さんに接触する前
医療エリアへの最後の接触から患者への最初の接触まで

2 清潔操作を行う前
あらゆる表面との最後の接触から清潔操作まで

3 体液曝露の可能性があった後
体液曝露してからあらゆる表面に触れるまで

4 患者さんに接触した後
患者さんへの最後の接触から医療エリアに接触するまで

5 患者さん周辺の環境に接触した後
患者さん周囲への最後の接触から医療エリアに接触するまで

5つのタイミングを意識し、手指衛生を心がけていきます

特集

院内取り組みのご紹介②

5階病棟 夏祭り

8月2日（火）、5階の回復期リハビリテーション病棟で夏祭りを開催しました。
入院中の患者さんやご家族さん、地域住民の方々との交流を目的に、病院スタッフ手作りの催しとあって、スタッフ同士でも大盛り上がりでした。

看護師やリハビリスタッフによる歌やオカリナの演奏・沖縄民謡などの出し物や、スイカ割りを楽しんでいただきながら、手作りのたこ焼きやわたあめを振る舞ったりと、会場は賑やかで笑いが絶えないほど笑顔に包まれました。

真心を込めて…

お祭りのフィナーレは、5階病棟のスタッフから入院患者さん一人ひとりに「名前」と「一言メッセージ」添えた手作りのプラ板キーホルダーをお渡ししました。

感染の拡大（院内感染）防止の最も重要な手段は手指衛生です

ステップ1

院内感染の予防策は「感染症の有無に関わらず」すべての患者さんのケア終了後に適用する手段です。

ステップ2

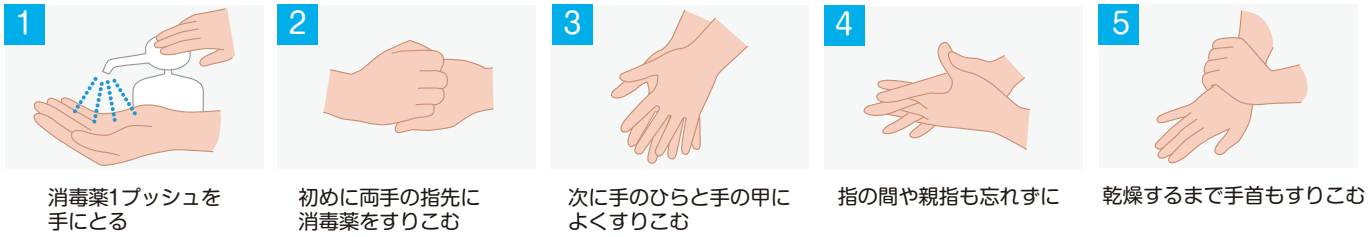
目に見えて汚れている場合は、水とハンドソープで洗う手洗いを行います。
手に見える汚れがない場合は、擦式アルコール製剤を用いた手指消毒を行います。

ステップ3

患者さんに触れる前は「いつも清潔な医療従事者」として対応することで、患者さんと医療従事者双方の医療感染の危険性を減少させます。

＜流水と液体石けんを用いる方法＞

＜擦式アルコール製剤を用いる方法＞



今後の予定

毎 月	担当者とミーティングを行い、啓発活動や教育計画に対する作戦会議を行います。
9 月	中間発表（大阪府）
10 月	各部署でポスターを作成しポスター展を開催。優秀作品を選び表彰します。
1 月	成果発表会（東京都）

当院の手指衛生遵守率 UP に向けた取り組みに乞うご期待 !!

「グリーンカーテン作戦」

回復期リハビリテーション病棟 専任医　佐藤（さとう） 有美（ゆみ）

　梅雨が明けた途端、毎日暑い日が続いています。
ここ数年、我が家の庭に緑と花を増やそうと小学生の息子とせっせと土いじりをしています。今年は、ポーチュラカが大増殖！
たった2株だったものが、どうしようか？！というくらいに増えに増えています。その生命力の強さ・しぶとさにびっくりするとともに、小さく色とりどりにきれいに咲く花にとても癒される毎日です。また、息子が小学校に上がる際にいただいたアサガオの種。毎年植えては種を取り、今年もばっちりつるを伸ばしています。年々取れる種が増えるため、今年は盛大なグリーンカーテンになる予感がしています。暑い夏、体感だけでなく、見た目でも涼しさを演出してくれそうです。…と、ここまでが実は前置きで（笑）

今年、当院回復期リハビリテーション病棟では、グリーンカーテン作戦を始めました。ゴーヤをはじめ数種類の野菜たちが、元気いっぱいに育っています。入院中の患者さんに積極的に参加をしてもらいながら、一緒に育てています。毎日少しずつ力強く伸びていく植物に、患者さんのADL・QOLの向上を重ねつつ、日々過ごす毎日。ちなみに、今年のグリーンカーテンは、全て食べられるものばかりを植えてみました！実がなれば皆で収穫し、おいしくいただきたい！と、今から期待に胸を膨らませています。
その様子はまた、いずれかの機会に…（笑）

　暑い夏、色々な工夫と知恵で上手に元気に乗り切りたいと思います。入院患者さんも先生役として、色々な昔ながらの工夫や知恵を教えてくれます。
皆さんも、暑い夏、熱中症などにはくれぐれも気をつけて、元気に乗り切ってくださいね。